

カーボンニュートラル都市ガスの導入

～中小企業におけるヘルスケア領域の原材料メーカーとして初（東京ガス管内）～

導入による削減効果を踏まえ、2022年度内に60%超のCO2排出量削減見込

医薬品・機能性食品・化粧品・研究用試薬における植物化学（ファイトケミカル）製品の専門企業である株式会社 常磐植物化学研究所（千葉県佐倉市木野子 158 番地、代表取締役社長 立崎仁）は、2022年6月より東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社よりカーボンニュートラル都市ガス^{注1}由来の蒸気の供給を受け使用を開始し、カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンス^{注2}に加盟しましたのでお知らせします。

当社は、本社・工場のある千葉県佐倉市の「ゼロカーボンシティ宣言」を支持し、「CO2排出量を2030年度末までに2013年度末比46%削減、2050年までに実質ゼロ」を目標と掲げております。また、当社は既に蒸気の省エネや太陽光導入等のCO2排出量削減の取り組みを実施しており、2022年度末時点で2013年度比23%のCO2排出量削減を達成する見込みです。当社はこれらの取り組みをさらに加速すべく、2022年6月より「カーボンニュートラル都市ガス」を導入しました。この削減効果を加味すると、2013年度比64%のCO2排出量削減が見込まれます。この削減効果を踏まえ、当社では今後3年以内に排出量実質ゼロを達成すべく努力してまいります。

なお、「カーボンニュートラル都市ガス」を導入したのは千葉県佐倉市では初で、中小企業におけるヘルスケア領域の原材料メーカーとして導入するのも初 となります（東京ガス管内）。

当社では15年以上前より環境経営を実践し、2010年より13年連続でエコアクション21認証^{注3}を取得。近年では、製品製造時に発生する残渣について環境負荷を減らすための残渣乾燥機の導入や、工場の屋根への太陽光パネルの設置など、多くの取り組みを実施しています。

今後も、これらの取り組みを継続しつつ、新たな技術も導入しながらカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでまいります。

本件に関するお問い合わせ先：

株式会社常磐植物化学研究所 営業部マーケティング課（担当：加藤、染野）

千葉県佐倉市木野子 158 番地 電話：043-498-0025 / E-mail: info@tokiwaph.co.jp

注1：カーボンニュートラル都市ガスは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されたCO2クレジットで相殺すること（カーボン・オフセット）により、地球規模では、この天然ガスを使用してもCO2が発生しないとみなされるLNGを活用した都市ガスです。参考）カーボンニュートラルLNGウェブサイト <https://carbon-neutral-lng.jp/>

注2：カーボンニュートラルLNGバイヤーズアライアンス

持続可能な社会の実現に向け、CNLを調達・供給する東京ガスと購入する企業・法人が一丸となり、CNLの普及拡大とその利用価値向上の実現を目的として設立された団体。

注3：エコアクション21認証：環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」のガイドラインに基づき取り組みを行う事業者を審査し、認証・登録する制度。



東京ガス(株) 東部産業エネルギー部長 笠原氏（写真一番左）、産業エネルギー営業部長 小林氏（写真左から2人目）、(株)常磐植物化学研究所 代表取締役社長 立崎仁（写真中央）